

令和4年度

教育委員会定例会（1月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

教育委員会定例会

1 開催日時・場所

令和5年1月18日(水) 10時00分から10時21分まで

四條畷市役所 東別館第二附属棟1階 大会議室

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	佃 千春
委 員	河田 文
委 員	尾崎 靖二

3 事務局出席者

教 育 部 長	阪本 武郎	教 育 部 次 長 兼 学 校 教 育 課 長	花岡 純
教 育 部 副 参 事 兼 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長	賀藤 久道	教 育 支 援 セ ン タ ー 長 兼 学 校 教 育 課 指 導 担 当 課 長	広谷 光輝
教 育 総 務 課 長	板谷 ひと美	教 育 支 援 セ ン タ ー 長 代 理 兼 学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長 代 理	櫻井 康弘
教 育 総 務 課 主 任	木邨 勇貴	ス ポ ー ツ ・ 文 化 財 振 興 課 長	神本 かおり
文 化 ・ 公 民 館 振 興 課 長 兼 公 民 館 長 図 書 館 長 兼 主 任 兼 田 原 図 書 館 主 任	安田 美有希  田中 学	青 少 年 育 成 課 長	勝村 隆彦

4 議事録作成者 教育総務課主任 木邨 勇貴

5 付議案件

議案 第1号	四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の改訂について
報告 第1号	令和5年度 全国学力・学習状況調査の参加及び協力について

植田教育長	<p>みなさま、おはようございます。          只今から1月の教育委員会定例会を開催します。          会議の成立状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
板谷教育総務課長	<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、会議が成立していることを報告いたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2号の規定に基づき議事録署名者の指名をおこないます。          本日の議事録署名者は、佀委員にお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>議案第1号 四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の改訂についてを議題といたします。</p> <p>事務局から本件の内容説明を願います。</p>
賀藤副参事兼学校給食センター所長	<p>議案1号 四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の改訂についてです。</p> <p>四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画について、消防及び高圧受変電設備を修繕項目に追加するため、議決を求めます。</p> <p>別添の修繕計画の3ページをご覧ください。          消防設備及び高圧受変電設備の検査において、不適合とされている部分を改善するため、対象設備一覧にナンバー61及びナンバー62として、新たに項目を追加しております。          続き、13ページをご覧ください。          こちらには、評価結果一覧表の末尾に記載しております。          18ページをご覧ください。          優先度の表の末尾に項目を追加しております。          19ページ、20ページをご覧ください。          今後のスケジュールにおいては、令和5年度の部分に追加、今後の更新工事の予定金額（参考）には、上から4、5段めに追加しております。</p> <p>現状におきましては、財政部局と令和4年度予算内で対応できるか、交渉をおこないつつ、令和5年度予算要求を進めている最中にあることを報告いたします。</p>

<p>(賀藤副参事兼学校給食センター所長) 植田教育長</p> <p>山本教育長職務代理者</p>	<p>以上が改訂内容の概要でございます。 ご審議のほどよろしく願いいたします。</p> <p>本件について、確認、質問等ございましたらどうぞ。</p> <p>内容的には問題なく、今回追加された消防設備及び高圧受変電設備につきましては、記載どおりに整備していただきたいと思っております。</p> <p>私からは1点、表記についてですが、優先度を示している箇所が14ページから始まっていて、17ページに、前回11月の策定時に議論した際の案には令和12年度までの表記だったかと思っておりますが、今は令和10年度以降という表記になっています。</p> <p>令和10年度以降の欄に点数が入っている項目は、17ページの機械室と施設外の次亜水貯蔵タンクの2つがそれぞれ55点となっていて、前回の計画案だと令和12年度は70点になっていたもので、今の記載では55点が続くように見えます。</p> <p>本計画は5ヵ年計画であるということから、以降という記載はなくした方がよいのではないかという意見です。</p>
<p>賀藤副参事兼学校給食センター所長</p>	<p>本計画は1ページにも記載しているとおおり5ヵ年計画としていることから、ご指摘いただきました令和10年度以降の表記を削除する形で修正したいと考えております。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に確認質問等はございませんか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ここでお諮りいたします。 議案第1号 四條畷市立学校給食センター施設・設備等修繕計画の改訂について、字句修正のうえ、原案のとおり可決することに異議ございませんか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議がないようですので、議案第1号については、字句修正のうえ、原案のとおり可決することに決しました。</p> <p>それでは、次に移ります。 報告第1号 令和5年度 全国学力・学習状況調査の参加及び協力についてを議題といたします。</p>

<p>(植田教育長)</p> <p>花岡教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>事務局から本件の内容説明を願います。</p> <p>報告第1号 令和5年度 全国学力・学習状況調査の参加及び協力についてです。</p> <p>令和5年4月18日火曜日に実施される標記の件につき、市立各小中学校の参加について報告するものでございます。</p> <p>詳細につきましては、文部科学省が示した別添資料をご覧ください。</p> <p>目的といたしましては、児童生徒の学力や学習状況を把握、分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立て、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することとしています。</p> <p>調査の対象は、小学校第6学年、中学校第3学年となります。</p> <p>調査事項の「児童生徒に対する調査」は、小学校、国語、算数、中学校、国語、数学及び英語の教科に関する調査と、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査があります。</p> <p>調査事項の「学校に対する調査」は、指導方法に関する取組みや教育条件の整備状況等に関する質問紙調査があります。</p> <p>調査結果の活用については、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努め、教育指導及び教育施策の改善に努めてまいります。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>本件について、質疑等ございましたらどうぞ。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>全国学力・学習状況調査の実施については、粛々と進めていただいて、その成果を四條畷の子どもたちに活かしていただくことをお願いします。</p> <p>そのうえでのことですが、今、非常にたくさんの学力調査あるいは状況調査等がおこなわれているかと思えます。</p> <p>そのことについての負担感を非常に懸念しています。</p> <p>私が認識している範囲になりますが、まず子どもたちが受けているものは、この全国学力・学習状況調査があります。</p> <p>次に、大阪府が実施しているチャレンジテスト、これは中学校第1学年、第2学年、時期を隔てて第3学年を対象としておこなわれています。</p> <p>それから、同じく大阪府が実施しているすくすくウォッチと呼ばれているもので、このなかでは教科横断的な学力を測るものもありますが、各教科の基本的な力を問うというようなものもあります。</p>

<p>(尾崎委員)</p>	<p>また、これは大阪府の事業でなく四條畷市独自のものだと思いますが、N R Tと呼ばれる全国標準学力調査があります。</p> <p>これら以外にも、これも四條畷独自のものでしょうか、G T E Cと呼ばれる小学校6学年を対象としてJ u n i o r 2、中学校第2、第3学年を対象としてC o r eというものがあります。</p> <p>今、私が認識しているものは以上になりますが、他に子どもたちが市の枠を越えて実施しているものがあれば教えていただきたいと思います。</p>
<p>花岡教育部次長兼学校教育課長</p>	<p>学力調査に関するものは委員お示しのものになります。</p> <p>学校独自で子どもたちの成長の変容を見取る調査として、計算力の調査や漢字の書取り調査を実施しているところもあると聞いています。</p> <p>これ以外にも、加配に関する成果指標として、記述式問題に取り組んでいる学校もあり、国、府及び市で統一した調査以外でも子どもたちの学力調査を実施している学校があると認識しています。</p>
<p>尾崎委員</p>	<p>今お聞きしたところ、非常に種々様々な調査をおこなっており、もちろん学校や学年、クラスによって子どもたちの学習の成果あるいは指導法について振り返るために必要な部分もあるとは思いますが、やはり負担感があります。</p> <p>一定の役割を果たしていた時期もあったとは思いますが、特に近年は複数の調査が重なってきており、後を追うかのようにして、様々な全体の学力を調査するようなものが増えています。</p> <p>この負担感についても様々なものがあると思います。</p> <p>1つが時期の問題です。</p> <p>一定の時期に集中して実施される傾向があります。</p> <p>次に、授業時数についてです。</p> <p>調査をする時間も授業時数に入れることになっていますが、そうすると本来おこなうべき教育課程の授業配當時数を圧迫するのではないかという懸念もあります。</p> <p>また、予算の問題もあると思います。</p> <p>調査にかかる予算規模は把握できていませんが、これらの調査に費やしている予算を少しでも別のものに替えることができれば、別の効果的な事業が実施できることも場合によってはあるかもしれません。</p> <p>そして私自身が最も懸念していることは、これだけ矢継ぎ早に調査があり、様々な結果が返ってきたときに、これを子どもたちにどのように返していくのかということです。</p>

(尾崎委員)

現場として結果を受け止めて、それを授業の方法や指導の方法といった内容を検討するときに、難しさが生じるのではないかと思います、

昨年の5月に、大阪府都市教育委員会連絡協議会の総会で私が質問させていただいたのですが、府が実施しているすくすくウォッチの国語で、リーディングスキルテストの分野で係り受けの問題がありました。

「私が父の若い頃の写真を妹に見せた。」という内容で、問いは、「写真を見せたのは誰か。」というもので、これには二通りの答えがあるのではないかと質問をさせてもらいました。

その時の回答は、答えは「私」だとのことだったのですが、実はこれは「妹」という答えも可能です。

妹と回答した子どもは何パーセントくらいいたのか聞いたのですが、今は把握していないとのことでした。

必ず何らかの方法でお伝えするようにします、とのことだったのですが、まだ回答はいただけていないようです。

お忙しいなかでのことだと思いますので、待ちたいと思います。

ただ、ここに表れているように、本当に「私」という答えを書けなかった子どもがすべて間違いとしてしまって良いのか、「妹」と書いた子どもはどのように考えていたのか、それは間違いなのか、これは指導の上で非常に重要な問題です。

これはあくまで1つの例に過ぎず、すべてがこうだと言っているのではないのですが、これを分析して指導に活かすということが十分にできるのかどうかという疑問を感じていますので、どこかに絞っていく等、負担感の軽減という観点でご検討いただきたいと思います。

まなびのプランのなかに指標として位置づけられているものではありませんが、計画期間内であっても、経済的あるいは学力の状況といった種々の状況によって見直すことがあると明記されていますので、変更は可能であると思います。

これらも含めて、見直す時期にきているのではないかと思いますので、ぜひご検討いただけたらと思います。

花岡教育部次長兼学校教育課長

学校現場において、指標として位置づけているものもあるかと思いますが、見直しについては先を見通したうえで、どの時期におこなうか検討してまいりたいと思います。

山本教育長職務代理者	<p>全国学力・学習状況調査については、来年は4月18日と日程が決まっています。</p> <p>先ほどの負担感と関係がある話にはなりますが、4月から5月初旬は、学校でも様々な調査等がおこなわれる時期です。</p> <p>本調査の日程を変更することは困難だとは思いますが、学校現場から本調査の日程に関する負担感や、他の調査を含めて何か意見は出ていませんか。</p>
花岡教育部次長兼学校教育課長	<p>年度初めの調査については、市で時期を選択できるような調査は少し後ろにずらすことはできないかという意見がありました。</p> <p>理由としましては、懸念されているとおり、教員の負担及び子どもたちの負担が考えられるというものがありましたので、今後そういった点も含めて、実施時期や方法についても精査する必要があると認識しています。</p>
佃委員	<p>全国学力・学習状況調査が開始されてから長い期間が経過しています。</p> <p>今、山本教育長職務代理者がおっしゃったように、この多忙な4月の時期に、またこの調査か、流しとけばいいか、というようにさっと過ぎてしまうのが最も懸念すべきことだと思います。</p> <p>例えば中学校であれば新しい年度になって教科担任が代わったり、小学校であればクラス担任が変わる等もあり、結果は前年度のものだからあまり関係ないと感じる人も、もちろん四條畷の教員にはそんな人はいないと思っていますが、可能性として考えられると思います。</p> <p>国が国力を上げて作成している、学力観を反映したものであると思いますので、教員には4月に必ず問題を見ていただいて、そこから学べることを自身の授業に反映させる等、前向きな使い方をしていただきたいです。</p> <p>また、結果が返ってくるのが8月とかなり先になってしまい、忘れた頃に返ってくるというところがあって、困る面もあります。</p> <p>でもそうではなく、終わったすぐ後に子どもたちの回答の様子をしてみる等、自分が今年この子どもたちを指導するにあたって使えるところはないかという視点で、是非ともご活用いただきたいと思っています。</p> <p>また、質問紙調査についても、私自身が学校長の時代には、毎年結果をどきどきしながら見ていたのを思い出しました。</p> <p>様々な子どもたちの状況や様子が手に取るようにわかるので、それを分析することによって次の手が打てるといった、非常にヒントが多いものだと思います。</p> <p>そのような使い方をしつつ、子どもたちに返していけるのであれば、大変でもやる価値はあると思っています。</p>



(佃委員)	学校の先生方は多忙な時期だとは思いますが、よろしく申し上げますという気持ちを伝えていただければと思います。
植田教育長	他に確認質問等ございましたらお願いします。  (「なし」の声)
植田教育長	事務局から、他に案件があればお願いします。  (「なし」の声)
植田教育長	それでは、本日予定の案件の審議はすべて終了しました。これをもちまして、定例会を閉会いたします。

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年3月29日

四 條 畷 市 教 育 長      植 田 篤 司

四條畷市教育委員会教育委員      佃 千春